

ごあいさつ

桜の若葉がみずみずしい季節となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、育児ファミリー・サポート・センター事業に温かいご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で先行き不透明で不安な社会情勢のなか、育児の支援を行う協力会員のやさしさ、育児にとりくむママさんパパさんのひたむきな姿、子どもの笑顔に支えられています。

これから親になる人、初めて親になる人、

伊丹市教育委員会事務局こども未来部子育て支援課長
伊丹市育児ファミリー・サポート・センター所長
橋本 佳子

子育て真っ最中の人、これからも様々な出会いと支え合いが円滑に行われるよう、スタッフ一同頑張っております。

人口減少と少子高齢化、新たな感染症の危機、デジタル技術の進歩など、私たちの暮らしは大きな変化に直面しています。それでも、子どもの笑顔と健やかな育ちを真ん中に据えて、市民相互のつながりや支え合いを変わらず大切に、会員の皆様と、ともに歩んでまいりたいと思いますので、引き続き、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和2年度 必須講座 (第2回)

講座の報告

24名の方に受講いただき、その内9名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

令和3年
2月3日
水

心の発達とその問題 「子どもの障がいの種類や特徴について」

講師 市こども発達支援センター 職員 西里枝子さん

障害とは、何らかの原因で心や身体の機能が上手く働かなくて、誰にでも生じる可能性のある身近なものであるということ。発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもので、それぞれの障がいの特性も学びました。



令和3年
2月3日
水

心の発達とその問題 「障がいのある子どもとの関わり方」

講師 市こども発達支援センター 職員 西里枝子さん

「マイナス言葉をプラス言葉にかえる」「こんなときどうする」の2つのワークをしました。実際の援助活動にすぐに取り入れることができるので、みなさん真剣な表情でした。また、障害の有無にかかわらず、その子ども一人一人を認めてあげて、わかりやすい言葉かけをし、たくさんの人と生活することが大事で、ファミリーサポートは、地域社会とつながる大切な場であると学びました。



令和3年
2月4日
木

保育の心 「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」

講師 市幼児教育推進課 西保育所 副所長 荒巻三幸さん

子育てを取り巻く環境・コロナ禍での子育て・保育の状況話をいただき、保護者や子どもとの関係づくりに、コミュニケーションの取り方(認めて、励ます)を教えていただきました。また、子どもと保護者の孤独・孤立を回避するために「あなたは一人じゃないだよ、大変な時は、声をあげていいんだよ」と伝えること。こどもであって一人の人間として接することが大切と学びました。



令和3年
2月4日
木

安全・事故 「事故対策講習会」

講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 何慈貞さん

身近なもの(ドラム式洗濯機・ウォーターサーバー・電子レンジ・ベビーカー・自転車・電池・ヘアドライヤー・家具等)や、家の各場所(台所・浴室・トイレ・ベランダ等)の危険な事例を具体的に教えていただきました。また、子どもの視野体験をし、子どもの視野の狭さにみなさん驚かされていました。知っているだけで事故を防げたり、先回りして予防策をとることの大切さを学び、知らなかったこと、気づいていないことの多さにびっくりされ、聞き入っていました。



令和3年
2月5日
金

こどもの世話 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師 市健康政策課 保健師 山野井美穂さん

月齢別のこどもの発達やそれにとまなう起こりやすい事故とその予防法について学びました。こどもは免疫力の予備力が少なく、自分で感染予防の行動がとれないので感染症にかかりやすい。感染予防するには大人の手助けが必要であるため、手洗いや消毒方法について詳しく教えていただきました。最後に今どきの子育て事情も話していただきました。



令和3年
2月5日
金

こどもの栄養と食生活 「こどもの栄養と食生活」

講師 市健康政策課 栄養士 武田美奈さん

食中毒は、感染経路が様々なので、食中毒の原因、症状、予防法を教えていただきました。こどもの食事作りは、こどもの口の成長(歯の本数)にあわせることが大切で、3歳以下のこどもの食べにくいものやその調理法を教えていただきました。また、離乳食の進め方でアレルギーの出やすい卵の与え方は、現在5、6か月から少しずつ慣れさせていくと知りました。



令和3年
2月7日
日

安全・事故 「乳幼児の緊急救命講習会」

講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん

心肺蘇生法を行うにあたっての具体的なポイントやAEDの使い方を教えていただいた後、3つのグループに分かれ、乳児・幼児・大人の人形を使って実習していただきました。実際に体験することによって、緊急時の必要性を実感され、みなさん熱心に取り組まれました。また、窒息の対処方法も教えていただきました。



令和3年
2月7日
日

子育て支援サービスを提供するために 「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

ファミリーサポートの制度や援助内容、補償保険について細かく説明しました。「こんな時、どうする?」では、安心・安全な援助活動を行うために様々な事例について真剣に取り組んでいただき、料金の計算も事例にそって実際にやってもらいました。

